

最新情報

1) MetaMorph7 Premier 新規オプションの紹介

MetaMorph Premier ver7 ユーザー向けにスクリーニングオプションの供給を開始します。Wellプレート対応の電動ステージを用いてプレートでのスクリーニングをされているお客様にとって、使い勝手が飛躍的に向上致します。価格や詳細につきましては、弊社営業担当までお問い合わせ下さい。

Part number	Discription
50150	Screen Acquisition オプション
50005	Screen Playback オプション

←プレートの一括表示
↓各 Well の表示

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	19	18	16	19	20	18	[20]	19	19	18	19	21
B	18	21	17	13	22	21	19	29	11	18	8	19
C	20	19	13	23	17	13	14	40	13	11	21	17
D	18	9	7	16	7	20	11	21	22	22	7	18
E												
F												
G												
H												

↑ Review 設定画面
表示例→

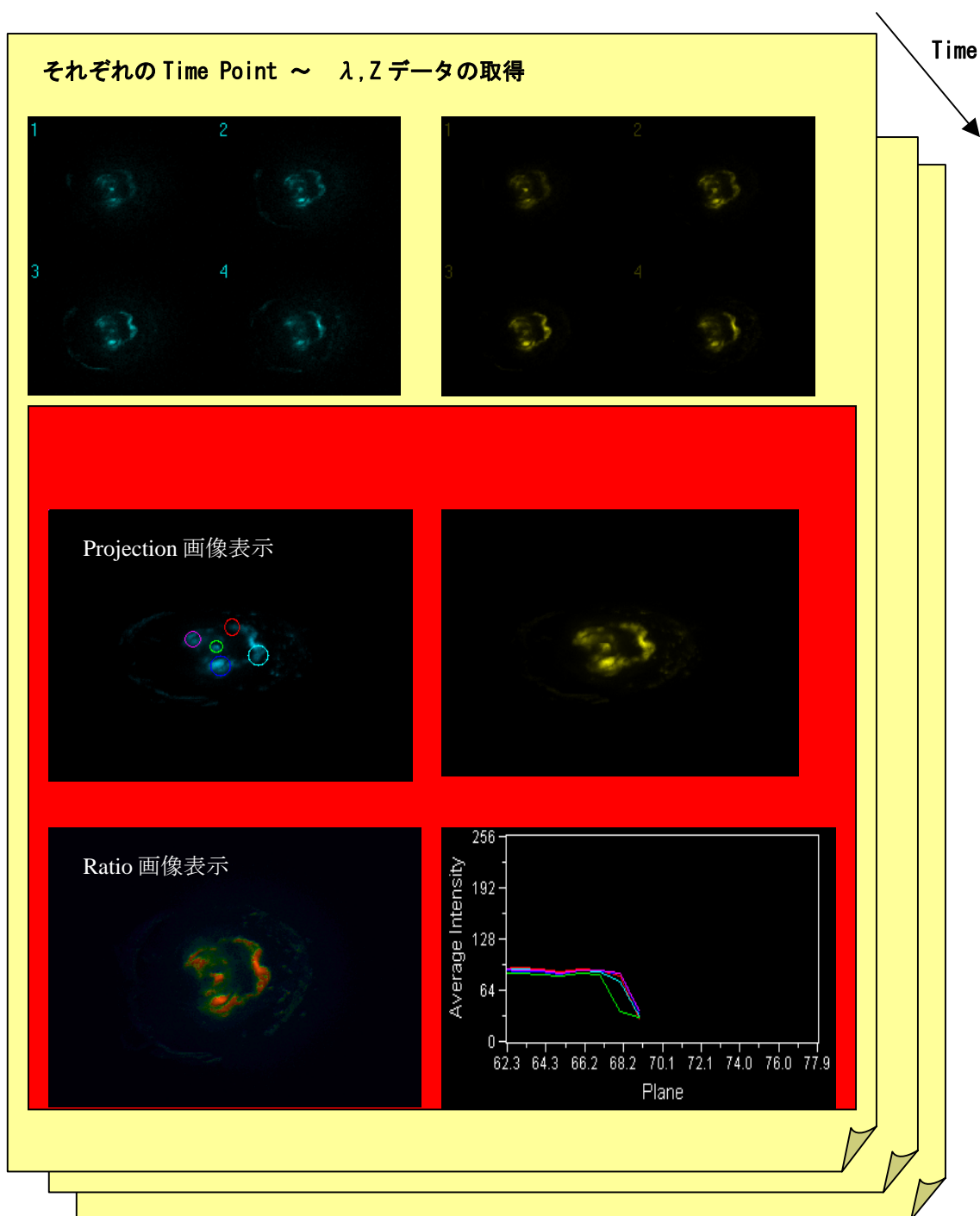
2) MDA / MetaMorph でのリアルタイムグラフ(Intensity-Ratio)表示について

FRET等のRatioイメージング全盛の昨今、MetaMorphのMulti Dimensional Acquisition (MDA)でのデータ取得中に輝度変化、Ratio変化のグラフ表示をしたいというご要望を多く受けるようになりました。これらのご要望に対し、弊社担当営業が納品の際にJournalを作成して対応しておりますが、それらの一部を簡単に紹介致します。

また、Z-seriesを取得しながら、Projection画像を表示、Projection画像からのグラフ表示も可能となります。

<Journalで可能になること>

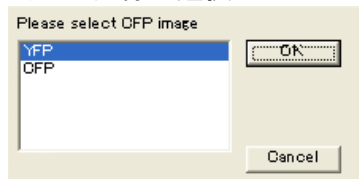
- ・ 複数のRegionでのRatio値または、Intensityのグラフ化
- ・ Ratio画像の表示(表示レンジ(Max, Min)の指定も可)
- ・ BackgroundのRegion指定
- ・ Z-seriesのプロジェクトン表示にも対応



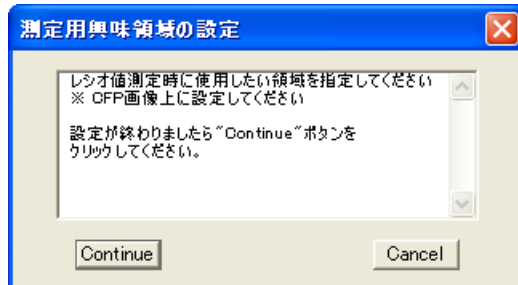
本Journalでは、MDAスタート後に下記のような設定を行います。

MDAスタート(Acquire)

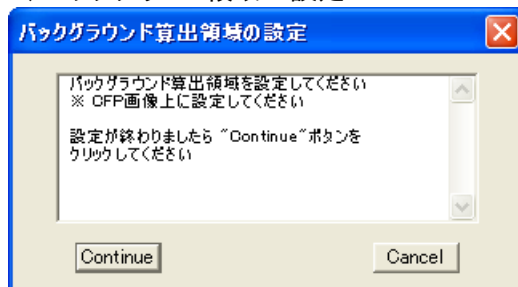
1)CFP画像の選択



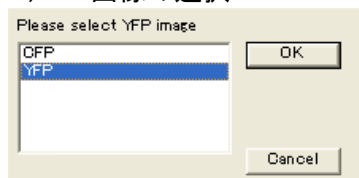
2)Ratio値計測エリア(ROI)の設定



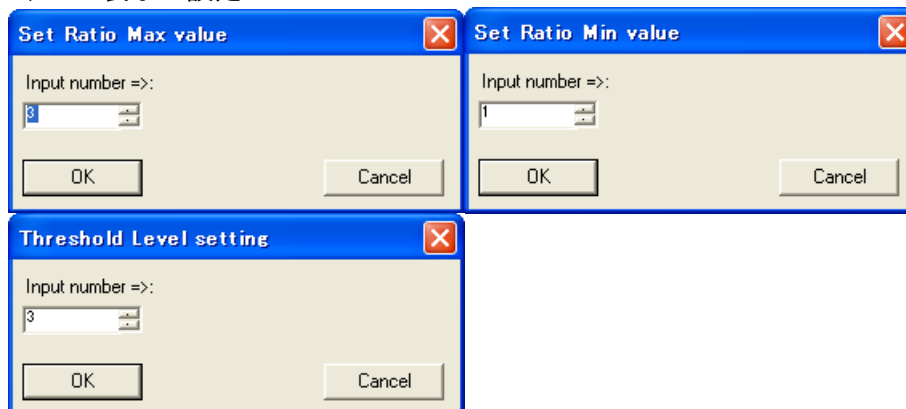
3)バックグラウンド領域の設定



4)YFP画像の選択



5)Ratio表示の設定



=>データ取得が開始され、各タイムポイントにてRatioグラフ、画像(Ratio、Projection)の表示が行われます。

3) Q Imaging 社 ROLERA-MGi の対応について

QImaging社より、EMCCDタイプのRELERA-MGi(ROL-MGi-F-M-14C)が発売されました。
MetalMagingSeriesVersion7では、近日中の対応を予定しております(本SalesNote発行時点では未対応です)。お客さまよりお問い合わせの際には、近日中でのサポートの旨、お知らせ下さい。
尚、詳細な情報等は、サポートされ次第SalesNoteで報告致します。

<主な特徴>

素子数 : 512X512

素子サイズ : 16 μ m

転送速度 : 10MHz, 5MHz(EM)
5MHz, 1MHz(Nomal)

インターフェース :
IEEE1394FireWire



以上